

市内各地で浸水、土砂崩れ



三和区払沢（橋本正幸議員提供）

左上は柿崎区桜町、左下は大島区竹平、真ん中は吉川区石谷。

南川小などへ580人余が避難

干ばつ被害でこまったもんだと思っていたら、今度は豪雨災害、今年の気象はまさに異常です。

8月28日の降雨は吉川区、大島区、安塚区等の山間部を中心に続き、各地で土砂崩れが発生させ、頸城区、吉川区などの下流域では保倉川、吉川などの増水により避難者が相次ぎました。

災害対策本部の情報によると、避難勧告の対象となった地域の人は6万人を超え、頸城区の南川小学校、くびき希望館などに580人を超える人たちが避難しました。

上越市議会では当日、長岡市で予定されていた新潟県市議会議長会主催の議員研修会への参加を見直し、副議長、災害担当の総務常任委員会委員へ私もメンバーの一人などが市内にとどまって、被災現場の視察などで活動しました。

日本共産党議員団の3人の地元ではどこでも被害が出ていたこともあって、連絡を取り合いながら各地の被災状況を確認、避難所要員の増員など市民から寄せられた要望などについては行政側につなぎました。

私は市議会の災害対応について、議会事務局を通じて議長に災害対策最優先で行動するように要請した後、吉川区、柿崎区、浦川原

9月議会審議日程（開始時間はいずれも10時）

日	会議	場所	備考
9月3日（月）	本会議	議場	提案理由 総括質疑
9月4日（火）	本会議	議場	総括質疑
9月5日（水）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月6日（木）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月7日（金）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月10日（月）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月11日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月12日（水）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月13日（木）	総務委員会	第1委員会室	私の出番
9月14日（金）	総務委員会	第1委員会室	私の出番
9月19日（水）	一般質問	議場	
9月20日（木）	一般質問	議場	
9月21日（金）	一般質問	議場	
9月25日（火）	一般質問	議場	
9月27日（木）	本会議	議場	議案など採決



【エノコログサ】イネ科の1年草。漢字で「狗尾草」と書きます。俗称は「ネコジャラシ」。いま田んぼの畦などで見かけます。花穂はブラシ状で、朝日や夕日を浴びると輝きます。花言葉は「遊び」「愛嬌」。写真は大島区竹平にて29日撮影しました。

区、安塚区などの状況を確認しました。また、当日、回りが切れなかった被災地については翌日、視察しました。

現場周りをしている感じは、この一つは河川管理の重要性です。今年、河床掘削などで整備が進んだところでは、流れが良くなって、安心して

いられました。一方、桜町橋周辺のようには河川内の雑木が残っていたところでは、地域の人たちが心配して集まり、早く何とかしてとの声が寄せられました。

9月議会が3日より始まります。干ばつ対策、水害対策でも頑張ります。

はしづめ法一の活動レポート

No.1873 2018.9.2

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五二一回

直売所にて

吉川区福平にある直売所にとって、八月一日は、お盆前最後の直売所「開業日」でした。私は午前一時頃、訪れました。正確に言うと、国田から福平を通って道之下へ抜ける途中、寄ったのです。

養善寺の下に差し掛かったとき、前方で背の高い人がゆっくりと直売所に入っている様子として見えました。私の中学時代の恩師、實英先生です。お連れ合いを亡くされて、一人で頑張っておられると聞いていました。

車の中から實英先生を見ると、先生も私に気づかれ、挨拶してくださいました。こうなれば、車から出て、お店にも寄つていこう、うまくいけば、一口メロンがあるかも知れない、そう思つて車から出ました。

お店にはジャガイモ、玉ねぎ、ウリなどの野菜がずらりと並んでいました。

「お茶飲んで行つてくれない」。奥の方から女しよの声が聞こえたので見ると、大工さんちのHさん、早くにお連れ合いを亡くされたF子さん、それに私がダンプで堆肥を運んだことのある家のE子さんの三人がおられました。

野菜などが並べてある場所の脇を通つて奥に入ると、そこには簡素な台とイスがいくつ用意されています。ちよつとした「談話室」になっています。小さな台の上には切ったメロン、丸ナス、キュウリなどの漬物がいくつも置いてありました。それらを見ただけで私はお茶をご馳走になる決断をしました。

私が座ると、まず實英先生が「いやー、おかげさんでいろんな人が来て下さるようになってね」「地域の情報が入るし、助かる」と言われました。そしたら、女しよの中から「隣近所の人でも話す機会は少ない。いいことだこて」という声が聞こえて

きました。私は年に数回、この直売所に寄つていますが、買い物だけでなく、ここで誰かと話をしたくてやってきている人たちがいることも知っています。

實英先生からは、続いて、「干ばつだと言うけど、どこらへんがひどいんだね」と聞かれました。「私の見た感じでは、安塚、吉川、牧、大島あたりかいね」と答え、見てきたばかりの吉川区坪野の田んぼのことを付け加えました。「坪野は圃場整備の関係で遅くなって植えたけど、あまり伸びていないんだよね。そこへ水不足で田はひび割れをおこしているんだわ」と。

直売所の裏側からはミンミンゼミの鳴き声が聞こえてきます。それも休みなしの賑やかさです。「ツクツクボウシはまだだこてね」と私が言うと、Hさんたちから「まだ」という答えが返ってきました。そして、「アブラゼミがいつぱいいて、次々落ちていく」「ニイニイゼミは、とまる木の色によつてはどこにいるかわからん」という声が相次ぎました。

話題はセミのことから八月四日の「越後よしかわやつたれ祭り」のことに移りました。じつは、この直売所のみなさんも会場となった原之町商店街で農産物を売りに出していたのです。E子さんだつたでしょうか、「そこに出したモモが評判だね」と言いました。すると、誰かが、「美味しいし、少し柔らかくなるよ、皮がペロツとむけるんだわ」とも。モモは實英先生が作ったものでした。みんなにほめられた先生は「袋かけが大変だね」とちよつぴり恥ずかしそうに話しました。

この日の天気は少し不安定でした。でも、直売所の中は常に「晴れ」。この日も楽しいおしゃべりが続き、外では百円店ののぼりがはためいていました。

農政建設常任委員会でも干ばつ被害調査

市議会農政建設常任委員会は8月23日、干ばつ被害の出ている牧、浦川原、安塚、大島区の田んぼを視察しました。これまで共産党議員団が視察した田んぼと同じように、ひび割れ、立ち枯れ、不稔、出穂に至らないものなど深刻な広がりがありました。委員会では、今後の対策を協議し、市に働きかけをしていく方針です。写真は浦川原区真光寺の田んぼです。



下の絵手紙は高田のYさんの作。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月22日(水)	8月29日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.043	0.057
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.043	0.057
頸南消防署	0.057	0.067
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.057	0.053